

その他の災害

大規模火災

大きな地震で火災が発生したとき、消火活動ができずに火が燃え広がったり、通常の火災でも強風にあおられ広範囲に延焼する大規模火災が起きたときは、風向きに注意し、風上側の広域避難場所に避難しましょう。広域避難場所は、30 ページ～ 43 ページのハザードマップで確認できます。



武力攻撃やテロから身の安全を守るために

武力攻撃や大規模テロなどから国民の生命、身体、財産を保護するため緊急の必要があると認めるときは、国が警報や避難の指示を出します。

弾道ミサイルへの対応

- Jアラートが発表されたら
弾道ミサイルは、数分以内に日本に着弾します。すぐに行動しましょう。
- 屋内にいる場合
ドアや窓を全部閉めて、ガス、水道、換気扇を止め、できれば窓のない部屋へ移動しましょう。
- 屋外にいる場合
近くの建物や地下に避難しましょう。
近くに適当な建物がない場合は、物陰に身を隠すか地面に伏せ頭部を守りましょう。



武力攻撃やテロの避難

- 武力攻撃
うわさやインターネットに惑わされることなく、テレビやラジオなどで確認し情報を集めましょう。
- テロ
不要な外出は避け、人が集まる場所には近づかないようにしましょう。避難が必要な時は市が指示を出します。
- 外出先でテロにあった場合
落ち着いて行動し、自分の身を守る行動をしてください。近くで爆発や火災があった場合は、すみやかにその場から離れ、警察官、消防官などがいればその指示に従ってください。



大雪から身を守る

- 不要不急の外出は極力控えましょう。
- スタッドレスタイヤやチェーンを装着していない車両は使用を控えてください。
- やむを得ず徒歩で出かける場合は、滑りにくい長靴等を履き、足元に十分に注意しましょう。軒下のそばには近づかないようにしましょう。(屋根から雪が滑り落ちてくることがあります)。
- 除雪や雪下ろしは、命綱やヘルメット、滑りにくい靴を着用して必ず 2 人以上で行います。

落雷から身を守る

- 樹木など高いものには近づかない。
- グラウンドなど開けた場所では、人に直撃しやすくなります。頑丈な建物に避難しましょう。
- 安全な場所がないときは、電柱など高い物体から 4m 以上離れた場所に退避し、姿勢を低くしましょう。



火山災害

富士山と箱根山は噴火のおそれが指摘されています。海老名市は、富士山山頂から直線距離で約 60km あるため、静岡県、山梨県、神奈川県などで構成される「富士山火山防災対策協議会」において、予想される被害は降灰のみとされています。宝永噴火と同等の噴火があった場合、噴火後、約 2 週間で 10cm～ 30 cm の降灰が予想されています。

大量の火山灰が降った場合は、停電や断水のおそれがあるほか、外出が困難になることが予想されるため、各家庭での水や食料の備蓄が重要となります。

